

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 左脚ブロックにおける治療実態と臨床経過の調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 宮島佳祐(循環器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法(研究期間も含む)

目的・方法: 心臓は全身に血液を送るポンプの役割を果たしています。そしてそのポンプ機能は刺激伝導系という電気の流れによって果たされていますが、刺激伝導系の一部の伝導が悪くなった状態の一つに左脚ブロックがあります。左脚ブロックは全く症状のない無症候の患者さんがいる一方で、心不全を合併した患者さんの予後を悪化させることも知られています。心不全を合併した患者さんに対しては薬物療法や心臓再同期療法(両心室ペースメーカー)などの治療が行われます。しかしこれらの治療を行っているにも関わらず改善の乏しい”non-responder”が20-40%程度存在すると言われていています。しかしどのような患者さんが”non-responder”となるのかについてはまだ明らかになっていません。その原因の一つに、左脚ブロックが単一の疾患ではなく、様々な疾患によりもたらされた刺激伝導系の異常の結果であることが考えられます。そのため今回我々は当院の左脚ブロックの患者さんの疾患背景や臨床経過、治療実態を調査する後ろ向き研究を計画しました。

研究方法はカルテ情報を用いた後ろ向き観察研究です。

本研究は、聖隷三方原病院の倫理委員会の許可を得て行われます。あなたの診療録(カルテ)から過去の情報を抽出して、解析を行います。保存された血液などの試料の利用や、この研究のために新たな試料を採取することはありません。したがって、あなたに新たな負担はありません。また、カルテからの情報の抽出の際には個人情報情報を削除しますので、あなたの情報が流出することはありません。

研究期間: 実施承認後～2022年3月31日

■ 対象となる患者さん

2014年4月1日～2022年3月31日に当院で左脚ブロックと診断された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料: なし

情報: 年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数、原因となる心疾患、生活習慣病の合併、心不全の重症度、血液検査結果、心電図検査結果、画像検査結果、治療歴等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
循環器科 宮島佳祐

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971